

市議会だより



発行 伊東市議会 議長 西島 彰
編集 議会報編集委員会
伊東市議会事務局
電話32-1981(直通)FAX38-6916

大室山

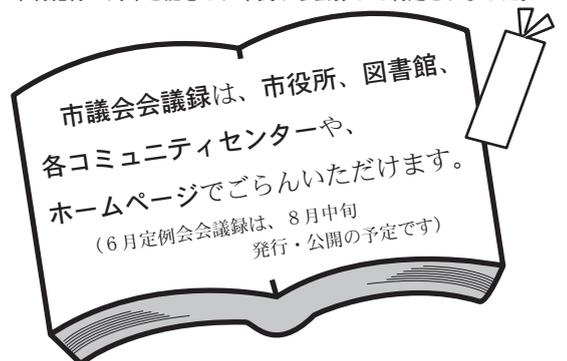


表紙は「いとう」の文字に大室山・小室山を配し、図案化したものです。
つばきは伊東市の花木で、昭和42年8月10日、市制施行20周年を記念し、市民から公募して制定されました。

小室山

主な内容

- 6月定例会の概要 【P.2】
- 一般質問（8議員が登壇） 【P.4】
- 常任委員会だより 【P.11】
- 特別委員会中間報告 【P.12】





平成26年6月定例会

22件の議案等を審議、決定



6月定例会を6月13日から6月26日までの14日間の会期で開会しました。

■市議会6月定例会で審議した議案等

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市認第1号	伊東市税賦課徴収条例の一部を改正する条例専決処分の報告承認について	地方税法の一部改正に伴う改正について平成26年3月31日に専決処分を行ったことの報告承認	市長	全会一致で承認
市認第2号	伊東市都市計画税賦課徴収条例の一部を改正する条例専決処分の報告承認について	地方税法の一部改正に伴う改正について平成26年3月31日に専決処分を行ったことの報告承認	市長	全会一致で承認
市認第3号	伊東市国民健康保険税条例の一部を改正する条例専決処分の報告承認について	地方税法の一部改正に伴う改正について平成26年3月31日に専決処分を行ったことの報告承認	市長	全会一致で承認
市認第4号	平成26年度伊東市競輪事業特別会計補正予算（第1号）専決処分の報告承認について	平成26年度の歳入から8,869万7,000円の繰上充用に係る専決処分を平成26年5月28日に行ったことの報告承認	市長	全会一致で承認
市報第1号	平成25年度伊東市一般会計予算繰越明許費繰越し報告について	平成25年度予算の一部（環境美化センター更新改良整備事業など7事業：18億5,046万7,000円）を平成26年度に繰り越したことの報告	市長	(報告、質疑のみ)
市議第1号	伊東市職員等退職手当支給条例の一部を改正する条例	国家公務員の退職給付の給付水準の見直し等のための国家公務員退職手当法等の一部を改正する法律の施行に伴い、定年前早期退職者に対する退職手当の基本額に係る特例が拡充されたことなどによる条例改正	市長	賛成多数で可決
市議第2号	伊東市税賦課徴収条例の一部を改正する条例	地方税法の一部改正に伴う個人市民税、法人市民税、固定資産税、軽自動車税に関する改正条例	市長	賛成多数で可決
市議第3号	伊東市火災予防条例の一部を改正する条例	消防法施行令の一部改正に伴い、対象火気器具等の取扱いに関する基準が見直されたことなどによる条例改正	市長	全会一致で可決
市議第4号	伊東市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例	消防団員の処遇改善を図ることを目的として、退職報償金支給額を引き上げるための条例改正	市長	全会一致で可決
市議第5号	西小学校屋内運動場改築工事請負契約の締結について	契約金額：3億2,724万円 契約の相手方：大同工業株式会社	市長	全会一致で可決
市議第6号	救急自動車購入契約の締結について	契約金額：1,900万8,000円 契約の相手方：静岡トヨタ自動車株式会社伊東店	市長	全会一致で可決
市議第7号	市道の路線認定について	9路線2,119.4mの市道の路線認定	市長	全会一致で可決
市議第8号	平成26年度伊東市一般会計補正予算（第1号）	放課後等デイサービス支援施設整備事業費補助金、つくし保育園施設整備事業費補助金、子ども・子育て支援新体制への移行に対応するためのシステム改修業務委託経費、大雪で被害を受けた農業用施設の撤去・再建への助成、林道の修繕料、車両購入費の追加など、財源については、県補助金とともに財政調整基金繰入金を充当するなど、6,822万7,000円の追加	市長	全会一致で可決

市 議 会 だ よ り

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
発議第1号	最低賃金大幅引き上げと中小企業支援の拡充を求める意見書	内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員 7名	全会一致 で可決
発議第2号	労働者保護ルールの見直しに関する意見書	内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、経済再生担当大臣、内閣府特命担当大臣（規制改革）、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員 7名	全会一致 で可決
発議第3号	「手話言語法（仮称）」制定を求める意見書	内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員 7名	全会一致 で可決
発議第4号	地域包括ケアシステム構築のため地域の実情に応じた支援を求める意見書	内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員 7名	全会一致 で可決
発議第5号	鳥獣の捕獲促進体制強化の速やかな実施を求める意見書	内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣、農林水産大臣、環境大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員 7名	全会一致 で可決
発議第6号	中小企業の事業環境の改善を求める意見書	内閣総理大臣、財務大臣、金融担当大臣、経済産業大臣、厚生労働大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員 7名	全会一致 で可決
発議第7号	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた環境整備及び地域における取り組みへの支援を求める意見書	内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣、国土交通大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員 7名	全会一致 で可決
発選第1号	静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について	有効投票20票のうち、飯田正志議員19票、石上顕太郎議員0票、秋田稔議員0票、大石信生議員1票	—	—
発選第2号	農業委員会委員推薦について	佐山正議員、四宮和彦議員、土屋光枝氏、遠藤裕子氏を推薦	議員 7名	全会一致 で推薦

本会議で
行つた討論
(概要)

■伊東市職員等退職手当支給条例の一部を改正する
条例

《反対》重岡秀子議員

定年退職者の退職金が減額される中、早期退職者の退職金のみ最大四五%も増額される本改正は、正規職員を減らし、人件費を抑制するための一施策であると考ええる。

地方行政の仕事がふえ、複雑化している中で、早期退職を奨励し、経験豊かな職員が減ることは本市行政の質の低下につながり、国が目的とする組織活力の維持に資するかは疑問である。本改正は、総体的に本市行政の向上につながるものではないと考え、反対する。

■伊東市税賦課徴収条例の一部を改正する条例

《反対》重岡秀子議員

法人市民税の税率引き下げの目的は、消費税増税による地方の財政力格差拡大の是正にあるが、この改正

で、真にその是正ができるかは不明で、もつと国が根本的な地方交付税の財源確保等をすべきと考える。自動車取得税の減税分を担保するため、維持費等が安く、生活必需品である軽自動車等への増税は、低所得者等に冷たい改正である。

本改正は、国の税制改正に伴うものであることは承知しているが、以上二点を理由として、反対する。

《賛成》正風改革クラブ

法改正に伴う本改正は、市財源にも関係し、市民にも直結する極めて重要な課題であると認識している。

特に、法人市民税の一・二・三%から九・七%への税率改正は、適正な措置であり、国税との二重課税を招くおそれのある反対意見は、行政活動を責任持つて監視する立場から、看過することはできない。

地方行政は税の公平負担や適正な徴収事務を執行する責務を、さらに議会は審議する責務を負うものとして、本改正に賛成する。

※会派構成議員～浜田修一郎議員、榎本元彦議員、佐山正議員、井戸清司議員、佐々木清議員、西島彰議員、◎宮崎雅憲議員、土屋進議員（議席順、◎=会派代表者）

一 般 質 問

8 議員が登壇/市政全般等について質問

(登壇順に掲載)

今後予測される急速な人口減少が伊東市に及ぼす影響とその対策について



正風改革クラブ
浜田修一郎 議員

伊東市の登録人口は平成二六年三月末現在七万一九〇六人と、ここ数年、毎年五〇〇人から八〇〇人程度減少してきている。

また、国立社会保障・人口問題研究所が公表した将来推計人口では、これからの四半世紀で伊東市の人口は現在の三分の二近くに激減してしまい、問題はこれだけではなく、年齢別に見た推計人口では少子高齢化が急速に進行するとも予測されている。

人口減少、少子高齢化という課題は、さまざまな形で行政経営を圧迫し、そのような課題に合わせた行政経営も求められてくると思うが、何より人口減少に歯

どめをかけるような大きな施策を今すぐに打ち出して、若者の市外への流出を防ぐ必要がある。

若者が「伊東は住みよいまちだ」、「子育てしやすいまちだ」と感じ、安心して暮らしていけるまちづくりを進めるべきであると考え

るが、いかがか。
人口減少に対する対策として、伊東市の魅力をさらに高めていき、総合計画の目標人口である七万人を維持していきたい

市長

人口減少は、労働力人口の減少や経済規模の縮小など社会経済とともに、市税収入の減少など本市の財政に大きな影響を及ぼすことが予想される。

また、同時に少子高齢化も急速に進行することから、医療・介護を初めとする社会保障関係費の急激な増加等の影響も出てくるものと思われる。

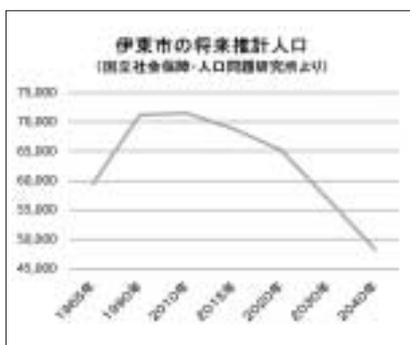
人口減少に対する対策としては、総合計画に掲げて

いる市民の健康増進、出産・子育て支援や保育の充実、教育環境の整備や、観光振興、市内経済の活性化、危機管理の充実などの施策を積極的に推進することにより、本市の魅力をさらに高めていき、総合計画の目標人口である七万人を維持することにつなげていきたいと考えている。

『その他の質問』

■市民の憩いの場、交流の場、スポーツ振興の拠点として、新たな総合スポーツ公園を計画すべきと考えるが、いかがか

■競輪事業について、第三〇回共同通信社杯の結果を踏まえ、今後の見通しを伺う



道路案内標識や観光案内標識等の多言語標識についての取り組みを伺う



民主党・刷新の会
浅田良弘 議員

訪日外国人旅行者数が平成二五年度に初めて一〇〇〇万人を達成した中、本年三月、観光庁により「観光立国実現に向けた多言語対応の改善・強化のためのガイドライン」が示された。

さらに、二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催を見据えて、各都道府県では、道路案内標識等についての多言語標識の取り組みが始まっており、静岡県においても、観光エリアへの案内誘導強化策として「もてなししずおか」茶「方式」による整備が展開されている。

一方、本市においても多言語標識の観光案内標識がふえてはいるものの、まだ

不十分であると感じられる。観光を基幹産業とする本市においては、国際化のイメージアップはもとより福祉や災害時への対応を図る観点から、多言語標記については喫緊に取り組むべき課題と考えるが、いかがか。

国のガイドラインに沿った公共サインの整備を進めていきたい

市長

本市の多言語標記に向けた対応については、県が策定した「しずおか公共サイン整備ガイドライン」に基づき、日本語、英語の二カ国語を基本に整備を進めてきている。

さらには、絵文字などの視覚記号による表現で、内容の伝達を直感的に行うことが出来るピクトグラムも活用し、公共サインの多言語化、ユニバーサルデザイン化に取り組んでいる。

今後はジオパーク推進の観点からも、伊豆半島全体で足並みをそろえる中で、国が新たに策定したガイド

ラインに沿った公共サインの整備を進めていきたいと考えている。

『その他の質問』

■環境保全及び省エネルギーの観点からLED照明化について

・市庁舎や公共施設の経費削減に向け、現況及び今後の見直しについて

・各町内会保有の防犯用街路灯への支援策について

■子ども・子育て関連三法に関する

・子ども・子育て支援事業計画の策定に向けた進捗状況について

・本市の条例制定時期と内容について

・制度施行による市財政に及ぼす影響について



著名地点誘導標識(茶色)



道路案内標識(青色)

本市の企業誘致及び起業支援について伺う



輝21 稲葉富士憲 議員

企業誘致や起業支援に特化した部署を創設する考えはないか伺う。

県等と連携して本市に適した企業誘致に取り組みたいとともに、商工会議所と連携して起業支援に係る幅広い支援をしている

市長

起業支援及び空き店舗対策補助事業については、利用を希望されている方もいることから、一層の周知に努め、雇用の創出や商店街のにぎわいづくりにつなげていきたい。

これまで講じてきた企業誘致や企業支援に係る施策については、静岡県企業立地市町推進連絡会に加入し、企業の引き合い情報や補助制度等の情報収集に努めており、引き続き、県東京事務所等と連携して、本市に適した企業誘致に取り組む。

起業支援については、開業に際し、店舗リフォーム振興事業を利用した方が過去三年間で八人おり、また、商工会議所の中小企業相談

所において、起業を含めた相談業務を行い、中小企業経営を幅広く支援している。

企業誘致、起業支援に特化した部署の創設については、現状、考えていないが、研修所、研究所等の誘致は、交流人口の増加等による税収増加や雇用拡大等につながるため、今後も県と連携し、情報収集に努める。

『その他の質問』

■市や学校等における物品調達及び教材の購入方法

・契約の方法について

・地元企業が優先か

・過度な競争の防止策

■子育て支援の推進策

・育児不安を抱えている保護者の把握

・虐待と思われる件数

・育児中の家庭への支援



求められる企業誘致・起業支援

スマートフォン用アプリの開発及びライブカメラの設置について伺う



公明党 長 沢 正 議員

内閣府の消費動向調査によると、今年三月末のスマートフォン上の世帯普及率は五四・七％となり、また、調査会社により若干違いがあるものの、この年末年始にかけて、スマートフォンの保有率が、従来型携帯電話を抜いたそうである。

保有している全ての人がインターネット機能を利用して、普及している事実と間違いはなく、スマートフォンを活用している自治体も既に幾つかある中、本市でも、公共サービスの向上や誘客アップのため、スマートフォン用アプリの開発を

また、ライブカメラについては現在、全国各地において道路状況や天気状況を提供するものから、観光地の名所や話題のスポット映像など、さまざまな用途で設置されている。そこで本市でも四季折々の風景を写すなど誘客策として、伊東八景などにライブカメラを設置する考えはないか伺う。

民間アプリ導入やライブカメラ設置は費用対効果等を見ながら検討していきたい

市長

スマートフォン用のアプリについては、観光や防災に限らず、さまざまな分野において、対応アプリが開発されており、事業ごとに選択が可能な状況となっているものの、スマートフォンの発達に合わせた技術的な対応も必要となるため、現時点では、本市独自でアプリを開発することは難しいと考えている。

しかしながら、このような情報を扱う民間の事業者も多いことから、本市で活

用できるアプリ等の導入について検討を進めていきたい。

また、ライブカメラの設置については、設置場所に通信回線、電源等が必要であり、ホームページの改修も必要となることから、費用対効果等を見ながら検討していきたい。

『その他の質問』

■市役所庁舎前の道路の渋滞緩和について

・来庁者用駐車場の混雑に関する情報発信について
・来庁者用駐車場の拡張について

■小・中学校における「がん学習」の実施について

■小・中学校における土曜教育の実施について



普及が進むスマートフォン

伊東市子どもを守る地域ネットワーク協議会の設置目的及び本市の虐待相談等の状況を伺う



伊東元気の会 杉本一彦 議員

最近、幼児や児童に対する虐待や育児放棄等による痛ましい事件が絶えない。「暴力」、「食事を与えない」、「監禁」等の虐待を受け、多くの子供たちが地獄のような生活しか知らないままこの世を去っている現実があるということを考えると、何とも言えない胸が詰まる思いがする。

このようなことが、本市においては存在しないと願う反面、もし、そのような虐待を受けている子供がいたなら、その子を保護することができるとは体制がとられているか否か、しっかりと検証する必要がある。

そこで、「伊東市子ども

を守る地域ネットワーク協議会」の設置目的について伺うとともに、本市における幼児・児童の虐待相談の最近の状況及び静岡県東部児童相談所等への保護の状況について伺う。

要保護児童等の早期発見や支援が目的であり、過去三年の新規相談数は五八人、児童相談所から新たに施設に入所措置した人数は三人となっている

市長

伊東市子どもを守る地域ネットワーク協議会は、要保護児童等の早期発見や支援のため、対象児童や家族への対応に必要な情報交換や支援内容の検討等を行うことを目的に設置している。

また、本市における幼児・児童の虐待に係る最近の相談状況及び静岡県東部児童相談所等への保護の状況について、虐待相談の過去三年の新規相談数は、二三年度が二二人、二四年度が二四人、二五年度が一二人であり、児童相談所から



園庭で元気に遊ぶ子供たち
(※記事の内容と図とは関係ありません。)

新たに施設に入所措置した人数は、二三年度が一人、二四年度が二人、二五年度は施設への入所はなく、里親への委託が二人となっている。

『その他の質問』

■松川湖周辺の鹿の食害に係る現状と対策について

■本市の幼児・児童虐待防止対策について

■市民病院の医師等の確保、配置について

・医師、看護師の確保

・常勤職員と非常勤職員のバランス

・医療技術の確保

■八幡野の山合いに放置された産業廃棄物について

・現況と県からの報告

・今後の見通し

心の状態チェックシステム「こころの体温計」の導入について伺う



公明党
楠田一男 議員

近年、年間三万人を超える自殺者があり、単に個人的な問題と捉えるのではなく、社会的要因があることを踏まえ、総合的な対策を早急に確立すべき時期にあるのではないかと。

政府は「これまでも各省市庁において自殺予防対策に取り組んできたが、今後は自殺対策基本法に基づき、自殺の防止及び自殺者の親族等への支援の充実を図る」としている。これは単に国だけの問題ではなく、地方自治体としても真剣に受けとめなければならぬ。そこで、健康・生活・家族・仕事などの問題によるストレスが原因となり、鬱病になる、自殺をするなど

のケースが増加している対策として、パソコンや携帯電話等で心の状態をチェックできるシステム「こころの体温計」が注目されているが、本市も導入できないか伺う。

普及啓発だけでなく、相談につなげることで、自殺防止にも有効な手段であることから、早急に導入していく。

市長

死因に占める自殺の割合が高まる中で、本市では平成二二年度から、県の補助を受けて、地域自殺対策緊急強化事業を実施し、支援のための人材育成やメンタル相談窓口の設置など、自殺防止対策に取り組んでいる。

今年度においても、対面相談・人材育成・普及啓発の各事業を計画しているところであるが、「こころの体温計」は、補助対象として、県内でも既に三市町で導入実績があり、パソコンや携帯電話で簡単にセルフ

チェックができ、単なる普及啓発としてだけでなく、相談につなげることで、自殺防止にも有効な手段であることから、早急に導入していく。

『その他の質問』

■認知症高齢者が行方不明になったときの対策として、自分の名前や持病等を書いた紙を書き入れる携帯ケース「命のカプセル」の導入について

■子供たちの読書意欲向上や教育活動につながる、読んだ本の情報や感想を記録する「読書通帳」の導入について

■西小学校にのみ配置されている学校司書の他校への配置拡大について



「こころの体温計」のロゴマーク

「江戸城石丁場遺跡」の国史跡指定へ向けての進捗状況等について



森 篤 議員
(会派に所属していない)

本年三月には文化庁において会議が開催され、国史跡の指定に係る幾つかの課題等について協議されたところであるが、既に三カ月を経過していることから、現時点におけるそれらの対応状況及び国史跡指定に向けた今後のスケジュールについて伺う。

また、平成二五年九月議会において同種の質問をした際、石丁場遺跡の第二次分布調査の報告書を平成二五年度中に刊行する予定である旨の答弁があったところであるが、どうなっているか伺う。

さらに、石丁場遺跡に係る海岸、海中の調査について今後検討していく旨の答

弁があつたところであるが、
どのような検討をしてきた
か伺う。

石丁場遺跡の国史跡指定に
関係する本市を含む三市の
課題等を協議するため、今
六月中に打合会を開催する
予定である

教育長

本年三月に文化庁の中世
城館遺跡等保存検討委員会
が開催され、本市を含め石
丁場遺跡の国史跡指定に関
係する静岡県、神奈川県、
熱海市、小田原市が出席し、
歴史的価値づけ等の問題点
の抽出を目的とした会議が
行われた。

この内容を踏まえ、静岡
県と神奈川県が中心となり
三市の石丁場遺跡に対する
課題等を協議するため、今
六月中に打合会を開催する
予定となっている。

また、平成二五年度に石
丁場遺跡の第二次分布調査
の報告書を作成、刊行し、
国、県及び関係機関に、各
地域の石丁場遺跡の資料と
して提供しているところで

ある。

さらに、石丁場遺跡に係
る海岸、海中の調査につい
ては、海岸部も遺跡を構成
する歴史遺産として認識は
しているが、保存方法など
の目的により調査手法も異
なり、陸域部よりも時間を
要することから、現在、進
めている石丁場遺跡の国史
跡指定とは切り離れた方向
性により、効果的な方法や
手法を模索している状況で
ある。

『その他の質問』

■市が刊行した図書の在庫
状況及び刊行部数の基本
的な考え方について

■コンビニエンスストアに
おける行政サービスの一
層の拡充について



宇佐美石丁場遺跡

子ども・子育て支援事業計
画策定に関し、子育て支援
事業のさらなる充実を図る
べきと考えるが、いかがか



重岡 秀子 議員
(会派に所属していない)

子育て支援事業に関し、
観光を基幹産業とする本市
においては保護者の就労実
態に即し、特に、一時保育
や病児・病後児保育、延長
保育、放課後児童クラブな
どの事業について、一層の
充実を図るべきと考えるが、
いかがか。

また、いとう創造大賞で
市民から提案され、平成二
五年度に実現したファミリ
ー・サポート・センターの
主な支援内容は、保育園等
の送迎や送迎前後の預かり
など、短時間の預かりであ
るが、実際には長時間とな
る一時保育や病児・病後児
保育の要望も寄せられてい
ると聞いており、子育て支

援事業の補助として、当事
業の充実を図る必要がある
と考えるが、いかがか。

ニーズ調査結果の分析、セ
ンターの質の向上など、子
育て支援事業の充実に努め
ていきたい

市長

子ども・子育て支援事業
計画は、子育て支援に関し、
事業ニーズの見込みを検証
し、事業内容や実施時期に
ついて定めるものであり、
平成二六年二月に実施した
幼児期の教育や保育事業、
地域の子ども・子育て支援
事業に関するニーズ調査の
結果を分析し、伊東市子ど
も・子育て会議を通じ、子
育て支援事業の充実に努め
ていきたい。

また、ファミリー・サポ
ート・センターについては、
児童を預かり援助する支援
会員の育成と、預かりを希
望する依頼会員の募集を進
め、平成二五年度（一一月
開始）の活動回数は八七回、
活動内容は、保育園等の終
了後の預かりや送迎などが

主なものとなっている。

依頼会員からのさまざま
な依頼内容に対応するため
には、支援会員の確保とと
もに、依頼内容に対応でき
る資格や技能を持つ支援会
員の養成が今後必要となる
ものの、まずは、会員数と
活動回数増加を目指し、
その中で、質の向上にも取
り組んでいきたい。

『その他の質問』

■世界ジオパーク認定を目
指す中、伊豆半島ジオパ
ークの価値や魅力を伝え
るためにビクターセンタ
ーが本市にもぜひ必要と
考えるが、いかがか

■全国学力・学習状況調査
の調査結果の公表に関し、
本市の見解を問う



ファミリー・サポート・センター
支援会員養成講習会



研修を受ける議員

議員研修会

三月二十六日(水)、市役所三階第二委員会室において、議会改革についてと題し、議会基本条例の策定、議会報告会、反問権・議員間討議の導入等について、議員研修会を開催しました。

講師は、中央大学大学院公共政策研究科教授幸田雅治氏にお願いいたしました。

閉会中の 議会活動

平成26年

※平成26年3月定例会閉会后平成26年6月定例会開会まで

- 3月26日 議員研修会
- 4月 4日 常任福祉文教委員会協議会
- 10日 議会報編集委員会
- 21日 常任観光建設委員会協議会
- “ 議会改革特別委員会
- 24日 常任福祉文教委員会協議会
- 5月 7日 常任総務委員会協議会
- 21日 議会改革特別委員会
- 6月 9日 議会運営委員会

●一〇年以上勤続

宮崎雅薫 議員

去る六月一三日、全国市議会議長会定期総会において永年勤続の表彰を受けた議員に対し、六月定例会において、その伝達を行いました。



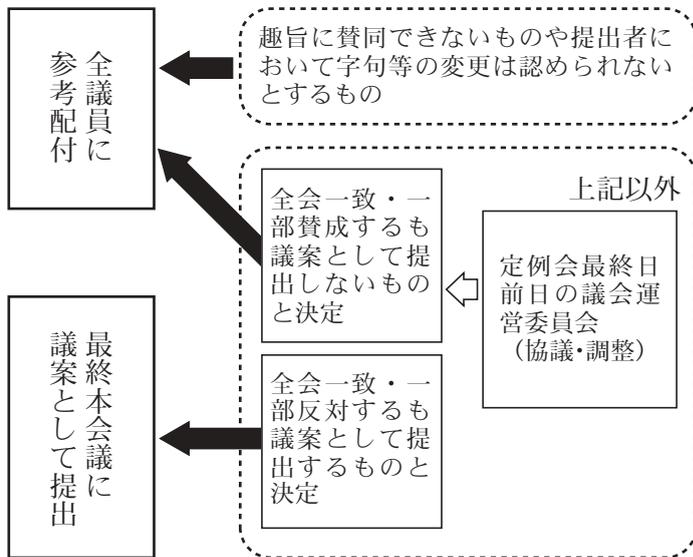
意見書提出を求める 陳情の取り扱いについて

陳情のうち、持参による「意見書提出を求める陳情」については、次のように取り扱っています。

取扱方法

定例会告示日の前日の午前一〇時までに提出

定例会告示日翌日の議会運営委員会に提案



なお、郵送によるものは、全議員に参考配付していません。



議場見学

かがやく富戸っ子22人
(富戸小3年生・6月3日)

学・級・目・標

みんなで協力！
みんなで笑顔！

市議会では、市民の皆様にも市議会の情報をお届けするため、ホームページを開設しています。主な内容は次のとおりとなっておりますので、ぜひご覧ください。

- ◎正副議長のごあいさつ
- ◎市議会の仕組み
- ◎市議会の構成
- ◎議員名簿
- ◎歴代議長・副議長一覧
- ◎委員会委員一覧
- ◎市政の概要（全編版・抜粋版）
- ◎定例会・臨時会
- ◎議会閉会中の活動状況
- ◎議長・副議長日程表
- ◎行政視察
- ◎いとう市議会だより
- ◎市議会の傍聴を！
- ◎請願・陳情、決議・意見書とは？
- ◎市議会図書室のご利用案内
- ◎市議会の情報公開請求
- ◎伊東市議会会議録検索システム

伊東市議会 ホームページのご案内



伊東市議会

検索

みんなで守ろう

「三ない運動」

- 政治家は有権者に
寄附を贈らない
 - 有権者は政治家に
寄附を求めない
 - 政治家から有権者への
寄附は受け取らない
- 議員や有権者が次の行為を行うことは法令で禁止され、処罰の対象となりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。
- 一政治家が選挙区内にある者に対して寄附をすること。
 - 二有権者が、威迫して、あるいは政治家を陥れる目的で寄附を求めること。
 - 三後援団体が、選挙区内にある者に対して花輪、香典、祝儀などを出すこと。
 - 四政治家が選挙区内にある者に対し、答礼のための自筆によるものを除き、年賀状等、時候のあいさつ状を出すこと。
 - 五政治家や後援団体が、選挙区内にある者に対する有料のあいさつ広告を出すこと。

常任委員会だより

～常任委員会審査の中から～

◆詳細は、8月中旬発行予定の6月定例会会議録の委員会審査報告をごらんください。

総務委員会

問

法人市民税の税率引き下げが及ぼす本市への影響について伺う。

答

平成26年度当初予算の法人市民税法人税割をベースに試算すると、約5,000万円の減収となるが、今般、国が創設する地方法人税については、交付税特別会計に直接繰り入れられることから、法人市民税の減収分は地方交付税により確保されるものと考えている。

問

伊東市火災予防条例の改正による町内会や自治会が主催する催しへの指導について伺う。

答

条例改正の内容について、各町内会等には速やかに通知するとともに、区長会や自主防災会の会合において説明し、浸透するまでの間、現地確認して指導する予定である。



町内会等の夜店にも
消火器の設置が必要です。

観光建設委員会

問

経営体育成支援事業における補助対象について伺う。

答

今回の補助事業においては、先般2月の大雪により農業用ハウス等の農業用施設等が被災した方で被災施設の撤去・再建を行い、農業経営を継続しようとする農業者を補助対象者とし、本市においては、鉄骨ハウス1件、パイプハウス3件、ガラスハウス1件の計5件を補助対象施設としている。

問

修繕を行う林道の路線及びその内容について伺う。

答

林道松原線は倒木によるのり面の形成と防護柵の設置、林道奥野線は倒木処理及び損傷した安全柵の修繕、林道池線は倒木処理及び路肩の土どめが主な内容である。



平成26年2月の大雪で被害に遭った
林道松原線のり面崩壊

福祉文教委員会

問

放課後等デイサービス支援施設の増築に至った経緯と計画について伺う。

答

重度心身障がいの子を持つ親からの要望が提出されたことにより増築工事に至ったものであり、新たに確保できるスペースを有効活用して安全性の確保に努めながら、重度心身障がい児の受け入れサービスを実施していく。

問

民設民営の認可保育所である(仮)つくし保育園の建設について近隣への対応を伺う。

答

施工業者に対して、近隣住民の要望に応えるため必要に応じた説明会を開催し、防音壁や駐車場の整備など環境整備を進めるよう指導をしている。



建設に着工した
(仮)つくし保育園

特別委員会 中間報告



議会改革特別委員会

議会インターネット中継に向け、ユーストリーム等を利用する方法による実施が適当であると判断した

◆四月二一日委員会

議会インターネット中継について協議した。

本議題については、ワーキンググループにより専門的に協議を進めており、以下の概要のとおり報告された。

市内ケーブルテレビ会社二社に見積書の提出を依頼し、一社から提出されたが、これによると、ユーストリーム等を利用する方法により、本会議中継で年間約一〇〇万円を要することであった。経費や議場設備等を考慮すると、この方法による実施が適当であり、来年度から、全ての本会議をインターネット中継するとの方向で本委員会において協議を進められたいとの

結論に至った。

委員から、委員会も含めて中継したほうが、市民に対し、より具体的な議論の内容を伝えることができるとして本会議のみの中継に至った理由を問う旨の質疑があり、委員会の制限公開制に対する本市議会としての考えが決定しておらず、委員会の記録が未公開の段階でインターネット中継を実施することについては問題があるとする旨の答弁があった。

このほか、経費を捻出する方法も協議すべしとの意見、大綱質疑と一般質問は、既にインターネット中継されておき検討の必要はない等の意見があり、意見調整後、さきの報告に意見調整中に出された意見を添えて本特別委員会の結論とすることを諮り、異議なく了承された。

◆五月二一日委員会

改選年における決算審議の日程等について協議した。委員から、初日に決算説明を行った後に大綱質疑を

行うとの日程構成ならば、市議会議員選挙が九月二〇日であっても十分な審議ができ、また、改選期か否かで議会日程に関し極力変更が生じないほうが望ましいとして、初日に詳細な決算説明を実施する旨の日程を希望する等の意見があり、委員長において、初日に詳細な決算説明を実施する日程構成を前提としての協議を議会運営委員会に委ねる旨を諮り、異議なく了承された。

議会を傍聴してみませんか？

市政に対する真剣な議論や、あなたが貴重な一票を投じた議員の発言などを直接ごらんになってみてはいかがでしょうか。

傍聴席入り口で記名等をしていただくだけの簡単な手続で傍聴することができます。

希望される方は、議事事務局（市役所低層棟三階）まで気軽にお越しください。



傍聴席から見た本会議の様子

9月定例会の予定

8月29日(金)開会

※日程等は、8月下旬の議会運営委員会において正式に決定します。

編集後記

伊東の夏と言えば、按針祭。その按針にゆかりの深い四市（白杵・横須賀・平戸・伊東）が連携して昨年ANJINプロジェクト連絡協議会が発足し、第一回ANJINサミットが平戸市で開催されました。そして、第二回ANJINサミットが、来る八月一日に本市にて開催されます。

これを機に、三浦按針の功績について見つめ直してみませんか。（委員長）

議会報編集委員会

- 委員長 稲葉富士憲
- 副委員長 長沢 正
- 委員 浜田修一郎
- ” 四宮和彦
- ” 杉本一彦

市議会に関するご意見

ご質問は議事事務局へ
伊東市大原二丁目一番一号
TEL (三三) 一九八一
FAX (三八) 六九一六